

●公益法人Ⅲ d b VERSION:9.301、公益法人 d b VERSION:10.301

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 消費税区分の改良について

- 会社登録で科目消費税区分を「登録しない」に変更しても、登録した内容の変更ができなくなるだけで、登録しているものは仕訳入力などで反映する状態となっていました。
- 摘要・枝番・部門消費税区分は、会社登録で消費税区分を「登録しない」に変更すると、登録した内容が変更できないだけでなく、仕訳入力などで反映されませんでした。
- 上記のことから、科目・摘要、枝番・部門のそれぞれで文言及び動作の統一・変更を行いました。

◆ 比較・推移表

- 比較・推移表業務に対応しました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“公益法人Ⅲ d b (VERSION:9.301)、公益法人 d b (VERSION:10.301) の変更点”を参照してください。

⚠注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

公益法人Ⅲ d b (VERSION:9.301)

公益法人 d b (VERSION:10.301) の変更点

消費税区分の改良について

概要

- ・会社登録で科目消費税区分を「登録しない」に変更しても、登録した内容の変更ができなくなるだけで、登録しているものは仕訳入力などで反映する状態となっていました。
- ・摘要・枝番・部門消費税区分は、会社登録で消費税区分を「登録しない」に変更すると、登録した内容が変更できないだけでなく、仕訳入力などで反映されませんでした。
- ・上記のことから、科目・摘要、枝番・部門のそれぞれで文言及び動作の統一・変更を行いました。
※詳細な対応内容は下記に各業務ごとに記載しております。

改良

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①伝票入力で証憑番号の入力ができるように改良しました。
振替伝票・入金伝票・出金伝票の全ての伝票で入力が可能となっています。
また、元帳検索の伝票形式での修正画面も同様の対応を行っています。
※会社登録で「証憑番号の使用：使用する」に設定している場合に、証憑欄が表示されます。

01 月 01 日	証憑 <input type="text"/>	部門
借 方	摘 要 手形番号 手形期日	変事 付箋
		貸

2) 新規会社登録・修正・削除

- ①下記(1)~(3)の対応を行いました。
 - (1)「消費税区分」から「消費税区分集計」に名称を変更しました。
 - (2)消費税区分集計から「科目」「摘要」の項目を削除しました。
「科目」「摘要」の項目は、科目設定・残高登録から選択できます。
 - (3)消費税区分集計の「枝番」「部門」の項目において、コンボボックスの文言を「登録する／登録しない」から、「行う／行わない」に変更しました。
※動作に変更はありません。

課税方式		原則課税	
経理方式		税込み処理	
税入力方式	売 上	内税方式	
	資 産	内税方式	
	経 費	内税方式	
	仕 入	内税方式	
仕入税額 按分法		個別対応	仕入区分設定
端数処理	売 上	切捨て	平成27年4月1日以後に開始する課税期間から簡易課税制度のみなし仕入率の変更が行われ、金融業及び保険業が第6種事業に、不動産業が第6種事業に変更されました。簡易課税の事業区分の選択には十分注意してください。
	仕 入	切捨て	
消費税区分集計	枝 番	行 う	
	部 門	行わない	
仮受・仮払消費税/枝番		振り付けない	
固定資産売却益/枝番		振り付けない	
元帳表記		通常表記	
課税方式別の税額比較処理		行わない	

②消費税情報タブ「課税方式」を変更しても“修正書込み”を行う前に、変更前の課税方式に戻せば、下記設定の内容を復元するように変更しました。

- ・「原則課税」→「簡易課税」→「原則課税」と変更した時の『仕入税額 按分法』
- ・「簡易課税」→「原則課税」→「簡易課税」と変更した時の『事業区分設定』
- ・「原則課税」→「免税」→「原則課税」と変更した時の『経理方式』『税入力方式』『仕入税額 按分法』
- ・「簡易課税」→「免税」→「簡易課税」と変更した時の『経理方式』『事業区分設定』『税入力方式』

③経理処理情報タブの「枝番入力」「部門入力」の設定を“行わない”から“行う”に変更した場合、仕訳入力の[F4 入力設定]において、下記の設定をチェック ON に変更するように改良しました。

- 「枝番」を“行う”に変更した場合
 - ・「枝番未入力チェック」が ON になります。
 - ・「枝番名称を表示」が ON になります。
 - ・「枝番のコピー」が ON になります。
- 「部門」を“行う”に変更した場合
 - ・「部門番号チェック」が ON になります。

<p>部門</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 部門番号チェック</p> <p><input type="checkbox"/> 部門名称を表示</p> <p><input type="checkbox"/> 部門名称を仕訳摘要にセット</p> <p><input type="checkbox"/> 工事名称を仕訳摘要にセット</p> <p>部門選択の優先順</p> <p><input type="radio"/> 画面番号 <input checked="" type="radio"/> 部門番号</p> <p><input type="checkbox"/> 部門未入力チェック</p> <p><input type="checkbox"/> 完成工事チェック</p> <p><input type="checkbox"/> 工事番号科目チェック</p>	<p>枝番</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 枝番未入力チェック</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 枝番名称を表示</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 枝番のコピー</p> <p><input type="checkbox"/> 枝番摘要を仕訳摘要にセット</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 資金線諸口枝番名称を表示</p> <p><input type="checkbox"/> 枝番選択を50音順で表示</p> <p>摘要枝番</p> <p><input type="checkbox"/> 部門摘要枝番を使用する</p> <p>科目選択画面</p>
--	--

- ④消費税情報タブ「経理方式」を“税抜き処理”に設定した場合、「税入力方式」の初期値を“内税入力”となるように変更しました。

課税方式	簡易課税	事業区分設定
経理方式	税抜き処理	経理処理設定
税入力方式	売上	内税方式
	資産	内税方式
	経費	内税方式
	仕入	内税方式
仕入税額 按分法		
端数処理	売上	切捨て
	仕入	切捨て
消費税区分集計	枝番	行う
	部門	
仮受・仮払消費税/枝番	振り付けない	
固定資産売却益/枝番	振り付けない	
元帳表記	通常表記	
課税方式別の税額比較処理	行わない	

平成27年4月1日以後に開始する課税期間から簡易課税制度のみなし仕入率の変更が行われ、金融業及び保険業が第5種事業に、不動産業が第6種事業に変更されました。簡易課税の事業区分の選択には十分注意してください。

3) 科目設定・残高登録

- ①下記(1)~(4)の対応を行いました。

(1)科目・枝番・摘要消費税区分登録のチェックボックスの文言を下記のように変更しました。

「科目消費税区分を登録する」 → 「科目消費税区分を設定する」

「枝番消費税区分を登録する」 → 「枝番消費税区分を設定する」

「摘要への消費税区分を登録する」 → 「摘要消費税区分を設定する」

「摘要に自動仕訳の科目を登録する」 → 「摘要に自動仕訳の科目を設定する」

「銀行 CSV 摘要を登録する」 → 「銀行 CSV 摘要を設定する」

○「科目設定・変更」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要
科目名称変更 科目設定・変更 科目順変更 出力用特殊名称			
<input checked="" type="checkbox"/> 科目消費税区分を設定する		<input type="checkbox"/> 入力区分一括	
番号	属性	科目名称	カナ
1		諸	シヨク

○「枝番残高登録」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
科目残高登録 枝番残高登録			
当期	開		
仕入高	1 (0550)	<input checked="" type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する	
枝番	摘要	枝番名称	カナ
0001	1	1月分	イカ

○「摘要辞書登録」画面

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
摘要辞書登録 科目対応摘要登録 仕訳対応摘要登録			
現在登録数 : 298			
<input checked="" type="checkbox"/> 摘要消費税区分を設定する		<input checked="" type="checkbox"/> 摘要に自動仕訳の科目を設定する	
<input checked="" type="checkbox"/> 銀行CSV摘要を設定する			
番号	摘要名称	カナ	銀行CSV摘要
1	1月分	イカ	消費税

(2) 「枝番消費税区分を設定する」の動作を下記のように変更しました。

- ・会社登録の消費税区分設定との連動を行わないようにしました。
 ※連動は行いませんが、会社登録の消費税区分設定「枝番：行わない」を選択している場合、「枝番消費税区分を設定する」のチェックボックスは変更できないように制御しています。
 また、「枝番：行わない」の場合、消費税区分の列は表示されません。

科目設定	残高登録	分析登録	摘要登録
科目残高登録 枝番残高登録			
当期		開	
仕入高 1 (0550)		<input checked="" type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する	
枝番	摘要	枝番名称	カナ
0001	1	1月分	イカ
0002	2	2月分	ニカ

- ・会社登録の消費税区分設定「枝番：行う」の場合は、「枝番消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。

- ・「枝番消費税区分を設定する：チェック ON」の場合、消費税区分の設定ができます。

当期		開				
仕入高 1 (0550)		<input checked="" type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する				
枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001	1	1月分	イカ	課税	基本設定	10%
0002	2	2月分	ニカ	課税	基本設定	10%
0003	3	3月分	サカ	課税	基本設定	10%

- ・「枝番消費税区分を設定する：チェック OFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました

※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

当期		開				
仕入高 1 (0550)		<input type="checkbox"/> 枝番消費税区分を設定する				
枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001	1	1月分	イカ	課税	基本設定	10%
0002	2	2月分	ニカ	課税	基本設定	10%
0003	3	3月分	サカ	課税	基本設定	10%

(3) 「摘要消費税区分を設定する」の動作を下記のように変更しました。

- ・「摘要消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。

- ・「摘要消費税区分を設定する：チェック ON」の場合、消費税区分の設定ができます。

現在登録数： 298			
<input checked="" type="checkbox"/> 摘要消費税区分を設定する		<input type="checkbox"/> 摘要に自動仕訳の科目を設定する	
			<input type="checkbox"/> 銀行CSV
番号	摘要名称	カナ	消費税
1	1月分	イカ	課税
2	2月分	ニカ	非課税
3	3月分	サカ	不課税
4	4月分	シカ	経過 - 8%
5	5月分	コカ	軽減 - 8%
6	6月分	ロカ	標準 - 10%

- ・「摘要消費税区分を設定する：チェック OFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました。

※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

現在登録数： 298

摘要消費税区分を設定する 摘要に自動仕訳の科目を設定する 銀行CSV排

番号	摘要名称	カナ	消費税
1	1月分	イカ	課税
2	2月分	ニカ	非課税
3	3月分	サンカ	不課税
4	4月分	シカ	経過 - 8%
5	5月分	コカ	軽減 - 8%
6	6月分	ロカ	標準 - 10%

- (4)「摘要に自動仕訳の科目を設定する：チェック OFF」の場合でも、自動仕訳の科目の列を表示するように変更しました。

※チェック ON の場合は、従来通りの動作となります。

摘要に自動仕訳の科目を設定する 銀行CSV摘要を登録する

名称	カナ	消費税	借方科目	貸方科目
	イカ		仕入高 1	
	ニカ		仕入高 1	
	サンカ		仕入高 1	
	シカ			売上高 1
	コカ			売上高 1
	ロカ			売上高 1

- ②科目設定の科目名称変更タブで、[F6 ICS 標準] を明細科目でも使用できるように改良しました。

[F6 ICS 標準] を押すことで、科目名称・試算表名称・決算書名称を ICS の標準の名称に戻すことができます。

※小分類科目追加・明細科目追加によって追加された科目は使用できません。

- ③科目設定の科目設定・変更タブで、科目属性を「輸出免税売上」に設定している場合、課税区分を変更できないようにしました。

番号	属性	科目名称	カナ	コード	摘要	課税区分
179		新 株 予約権	シカフヨ	0440		
180	輸免	売上高 1	ウリア	0511	4	課税
181	売上	売上高 2	ウリア	0512	4	課税
182	売上	売上高 3	ウリア	0513	4	課税
183	売上	売上高 4	ウリア	0514	4	課税
184	売上	売上高 5	ウリア	0515	4	課税
185	売上	売上高 6	ウリア	0516	4	課税
186	売上	売上高 7	ウリア	0517	4	課税
187	売上	売上高 8	ウリア	0518	4	課税
188	売上	売上高 9	ウリア	0519	4	課税
189	売上	他売上高	ウリア	0520	4	課税
190	売上	返上値引	ウリア	0521	4	課税
191	売上	返上戻り	ウリア	0522	4	課税

4) 部門設定

- ①下記(1)~(4)の対応を行いました。

- (1)「部門消費税区分を登録する」のチェックボックスの文言を「部門消費税区分を設定する」に変更しました。

部門消費税区分を設定する

コード	部門名称	仕入区分
1	1	課税売上に係る
2	2	非課税売上に係る
3	3	共通に係る

(2)会社登録の消費税区分集計との連動を行わないようにしました。

※連動は行いませんが、会社登録の消費税区分集計「部門：行わない」を選択している場合、「消費税設定」のボタンを押さないように制御しています。

消費税設定		詳細設定	集計部門設定
部門	部門名称		
1	1		
2	2		

(3)会社登録の消費税区分集計「部門：行う」の場合は、「部門消費税区分を設定する」のチェックのON/OFFに関係なく、設定している消費税区分が仕訳入力等に反映するように変更しました。

(4)「部門消費税区分を設定する：チェックOFF」の場合でも、消費税区分の列を表示するように変更しました。

※消費税区分欄の確認は行えますが、変更はできないように制御をしています。

部門消費税区分を設定する

コード	部門名称	仕入区分
1	1	課税売上に係る
2	2	非課税売上に係る
3	3	共通に係る

II. 出力

1) 比較・推移表

①比較・推移表業務に対応しました。

出力処理の分析カテゴリーに比較・推移表業務を追加しました。

資料	消費税	分析
1. 仕訳日記帳	9. 消費税仕訳帳	17. 予算実績対比表
2. 総勘定元帳	10. 消費税元帳	18. 比較・推移表
3. 試算表	11. 消費税額試算表・集計表・課税売上割合	
	12. 消費税額比較表	
	13. 消費税申告書	
	14. 消費税申告書ab(非連動)	

2期比較表タブ

《出力帳表の選択》

▶帳表の種類

- ・ 1-1. 比較貸借対照表
- ・ 1-2. 比較貸借対照表（期首残）
- ・ 1-3. 比較正味財産計算書
- ・ 1-4. 比較収支計算書
- ・ 1-5. 比較正味財産計算書（前期末残）
- ・ 1-6. 比較収支計算書（前期末残）

※財務 d b にある半期・四半期計算書には対応していません。

※正味財産増減計算書はプルダウンメニューのみ名称を省略しています。

※収支計算書ではさらに、プルダウンメニューから「損益」と「資金」を選択できます。

「損益」は試算表業務の収支計算書、「資金」は同業務の資金計算ベースの収支計算書と同様の形式で出力します。

▶用紙サイズ

- ・ A4／B4／A3

《出力期間の指定》

▶出力月

- ・ 開始月～決修月までの 13 ヶ月

▶出力期

- ・ 当期／前期／前々期／三期前

※1-1, 1-2, 1-5, 1-6、及び 1-3, 1-4 の袋とじ出力 ON 時に設定できます。

出力月（まで）の金額を前期と当期で比較して出力します。出力期を切り替えた場合、選択した期を基準とした“前期”と“当期”の金額を出力します。

- ・ 前年対比／前月対比 ※1-3, 1-4 の袋とじ出力 OFF 時に設定できます。

前年対比 …… 出力月の発生金額、出力月までの累計金額を前期と当期で対比させます。

前月対比 …… 出力月と前月との金額、出力月までの金額を前期と当期で対比させます。

- ▶ 前年項目を予算で出力する ※1-4, 1-6 で選択できます。

- ・ 比率計算 予算÷実績 / 実績÷予算
- ・ 差額計算 予算－実績 / 実績－予算

- ・ 前期列の代わりに予算列を出力します。（袋とじ出力・損益／資金の設定に関係なく）

《詳細項目設定》

- ▶帳表形式
 - ・自動のみ
- ▶出力形式 ※1-1, 1-3, 1-4 の袋とじ出力時のみ
 - ・貸借帳表 発生／累計
 - ・収支帳表 発生／累計（収支帳表は 1-3 にも反映します。）
- ▶金額単位
 - ・円単位／千円単位／千円単位（千円以下出力）
- ▶行間隔
 - ・1行／1.5行／指定値 ※指定値は F6 項目登録の設定によります。
- ▶科目名に科目コードを付加する
 - ・勘定科目名の後ろに科目コードを表示します。
- ▶分類項目に網掛出力する（科目欄を網掛出力する）
 - ・分類項目行に網掛を行います。科目欄の網掛も設定により行います。
- ▶カンマ表示
 - ・金額欄で桁取り線をカットする代わりに数値にカンマを付けて出力します。
- ▶当期を基準とした順で出力する
 - ・期ごとの金額列において当期を先に出力します。OFF では前期以前を先に出力します。
- ▶余白に継続出力する
 - ・複数月や複数部門の出力において十分な余白がある場合に前帳表に続いて出力します。
- ▶コメント出力する
 - ・F8 コメントで登録した文字を帳表下余白へ月ごとに出力します。
- ▶決修月に決算月の金額を含めて出力する ※1-1, 1-3, 1-4 で設定できます。
 - ・決算修正月の発生金額に決算月の発生金額を含めて出力します。OFF の場合は決修月単独の金額を出力します。
 - ・チェック OFF の場合、予算出力時の予算金額は出力しません。
 - ・チェックボックスは、1-1 では「袋とじ出力=ON」かつ「出力形式=発生」かつ「出力月=決修月」の場合に有効です。1-3 では袋とじ出力 OFF の場合も有効です。
 - ・当期以外の金額も当チェックの影響を受けます。

3期・5期比較表タブ

比較・推移表 [04151027]1-2021-0126-1384 公益財団法人 比較推移表事業団 2年 4月 1日～ 4年 3月 31日 第 2期 帳込

2期 比較表 3期・5期 比較表 推移表

既定(税込) 税 抜

部門

出力帳表の選択
帳表の種類 2-1.比較貸借対照表(三期A-TYPE)
用紙サイズ B 4

出力期間の指定
出力月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決
03年 04月 30日

詳細項目設定

貸借対照表・正味財産計算書・収支計算書(3期・5期)

帳表形式 自動
出力形式 貸借帳表 累計
収支帳表 発生
金額単位 円単位
行間隔 1行

科目名に科目コードを付加する
分類項目に網掛出力をする
科目欄を網掛出力する

カンマ表示
当期を基準とした順で出力する
比較対象を当期とする

余白に継続出力する
コメント出力する

決修月に決算月の金額を含めて出力する

印刷[F5]

《出力帳表の選択》

▶帳表の種類

- ・ 2-1. 比較貸借対照表（三期 A-TYPE）
- ・ 2-2. 比較正味財産計算書（三期 A-TYPE）
- ・ 2-3. 比較収支計算書（三期 A-TYPE）
- ・ 2-4. 比較貸借対照表（三期 B-TYPE）
- ・ 2-5. 比較正味財産計算書（三期 B-TYPE）
- ・ 2-6. 比較収支計算書（三期 B-TYPE）
- ・ 2-7. 比較貸借対照表（五期）
- ・ 2-8. 比較正味財産計算書（五期）
- ・ 2-9. 比較収支計算書（五期）

※正味財産増減計算書はプルダウンメニューのみ名称を省略しています。

※収支計算書ではさらに、プルダウンメニューから「損益」と「資金」を選択できます。

「損益」は試算表業務の収支計算書、「資金」は同業務の資金計算ベースの収支計算書と同様の形式で出力します。

▶用紙サイズ

- ・ A4/B4/A3

《出力期間の指定》

▶出力月

- ・ 開始月～決修月までの 13 ヶ月

《詳細項目設定》

▶帳表形式

- ・ 自動のみ

▶出力形式

- ・ 貸借帳表 発生／累計
- ・ 収支帳表 発生／累計（収支帳表は 2-3, 2-5, 2-8 にも反映します。）

▶金額単位

- ・ 円単位／千円単位／千円単位（千円以下出力）

▶行間隔

- ・ 1行／1.5行／指定値 ※指定値は F6 項目登録の設定によります。

▶科目名に科目コードを付加する

- ・ 勘定科目名の後ろに科目コードを表示します。

▶分類項目に網掛出力する（科目欄を網掛出力する）

- ・ 分類項目行に網掛を行います。科目欄の網掛も設定により行います。

▶カンマ表示

- ・ 金額欄で桁取り線をカットする代わりに数値にカンマを付けて出力します。

▶当期を基準とした順で出力する

- ・ 期ごとの金額列において当期を先に出力します。OFF では前期以前を先に出力します。

▶比較対象を当期とする

- ・ 前期以前の本額を増減比率を当期の本額と比較して求めた数値で出力します。OFF では前期以前の各期から見た“前期”の本額と比較します。

▶余白に継続出力する

- ・ 複数月や複数部門の出力において十分な余白がある場合に前帳表に続いて出力します。

▶コメント出力する

- ・ F8 コメントで登録した文字を帳表下余白へ月ごとに出力します。

▶決修月に決算月の金額を含めて出力する

- ・ 決算修正月の発生金額に決算月の発生金額を含めて出力します。OFF の場合は決修月単独の金額を出力します。
- ・ チェックボックスは「出力形式＝発生」かつ「出力月＝決修月」の場合に有効です。
- ・ 当期以外の金額も当チェックの影響を受けます。

推移表タブ

《出力帳表の選択》

▶帳表の種類

- ・ 3-1. 比較貸借推移表
- ・ 3-2. 比較正味財産推移表
- ・ 3-3. 比較収支推移表
- ・ 3-4. 比較正味財産推移表（月平均）
- ・ 3-5. 比較収支推移表（月平均）
- ・ 3-6. 期間貸借推移表
- ・ 3-7. 期間正味財産推移表
- ・ 3-8. 期間収支推移表
- ・ 3-9. 年期間合計正味財産推移表
- ・ 3-10. 年期間合計収支推移表

※財務 d b にある四半期推移表には対応していません。

※正味財産増減推移表はプルダウンメニューのみ名称を省略しています。

※収支推移表ではさらに、プルダウンメニューから「損益」と「資金」を選択できます。

「損益」は試算表業務の収支計算書、「資金」は同業務の資金計算ベースの収支計算書と同様の形式で出力します。

▶用紙サイズ

- ・ A4/B4/A3

《出力期間の指定》

▶出力月

- ・ 3-1～3-5 は開始月～決修月までの 13 ヶ月、3-6～3-10 は開始月～決算月までの 12 ヶ月

▶出力期

- ・ 当期／前期／前々期 ※3-9, 3-10 は当期固定です。

▶出力範囲

- ・ 当期基準／当月基準（12 ヶ月） ※3-2～3-5 で設定できます。

▶月並び順

- ・ 過去月→当月／当月←過去月 ※3-2～3-5 で設定できます。

▶累計欄位置

- ・ 左側／右側 ※3-2, 3-3 で設定できます。

《詳細項目設定》

- ▶ 帳表形式
 - ・ 自動のみ
- ▶ 各月金額 ※3-1～3-3, 3-6～3-8 で設定できます。
 - ・ 貸借帳表 各月発生／各月累計
 - ・ 収支帳表 各月発生／各月累計（収支帳表は 3-2, 3-7 にも反映します。）
- ▶ 金額単位
 - ・ 円単位／千円単位／千円単位（千円以下出力）
- ▶ 行間隔
 - ・ 1行／1.5行／指定値 ※指定値は F6 項目登録の設定によります。
- ▶ 科目名に科目コードを付加する
 - ・ 勘定科目名の後ろに科目コードを表示します。
- ▶ 分類項目に網掛出力する（科目欄を網掛出力する）
 - ・ 分類項目行に網掛を行います。科目欄の網掛も設定により行います。
- ▶ カンマ表示
 - ・ 金額欄で桁取り線をカットし数値にカンマを付けて出力します。
- ▶ 金額・比率を縮小文字で出力する
 - ・ 金額・比率のフォントサイズを下げて出力します。
- ▶ 当期を基準とした順で出力する ※3-1～3-3 で設定できます。
 - ・ 期ごとの金額列において当期を先に出力します。OFF では前期以前を先に出力します。
- ▶ 余白に継続出力する
 - ・ 複数月や複数部門の出力において十分な余白がある場合に前帳表に続いて出力します。
- ▶ コメント出力する
 - ・ F8 コメントで登録した文字を帳表下余白へ月ごとに出力します。
- ▶ 合計欄設定 ※3-1 で設定できます。
 - ・ 期末残高／同月累計(前期・当期)／同月累計(前々期・前期) 増減額を出力する
 - ・ 前期以前について、各期末残高または出力月時点の各期同月残高、及び各期の構成比を合計欄へ出力します。金額の増減額及び比率の出力も設定により行います。
- ▶ 決修月を単独表示する ※3-1～3-5 の決修月指定時、及び 3-6～3-8 で設定できます。
 - ・ 決算修正月の金額を決算月から分離し単独の列を設けて出力します。OFF では決算月を含めて出力します。
- ▶ 各月の比率を出力する ※3-1～3-5 で設定できます。
 - ・ 構成比や対収入比、対収益比を各月の金額に対して出力します。OFF では決算最終月に対してのみ出力します。
- ▶ 仕訳未入力月空欄出力 ※3-5～3-7 で設定できます。
 - ・ 各月累計の期間推移表において仕訳を入力していない月を空欄で出力します。OFF では仕訳未入力月にも仕訳入力最終月の金額を出力します。

F6 項目登録

《共通》

- ▶ 破線出力
 - ・ 罫線を破線で出力します。
- ▶ 税処理区分を出力する
 - ・ 帳表右上に現在設定中の税区分を出力します。
- ▶ 期表示を第〇〇期表示する
 - ・ 比較表において各出力期を数字で表します。
- ▶ Excel 出力で全科目を出力する
 - ・ 発生の有無に関わらずすべての科目を Excel 上で出力します。
- ▶ 出力行間 (1/10mm)
 - ・ 数値を 36～99 の範囲で行間設定します。

《貸借対照表》

▶□事業年度を出力する

- ・貸借対照表で自至年月日を出力します。袋とじ帳表にはスペースの関係上出力しません。

《正味財産増減計算書・収支計算書》

▶□負(マイナ)の対収入(収益)比率を出力する

- ・正味財産増減計算帳表、収支計算帳表で対収益比、対収入比のマイナス値を出力します。

《比較表》

▶□2期比較表を年月表示にする

- ・2期比較表の各出力期を元号+○年○月で出力します。

▶□3期比較表を年月表示にする

- ・3期比較表の各出力期を元号+○年○月で出力します。

▶□5期比較表を年月表示にする

- ・5期比較表の各出力期を元号+○年○月で出力します。

(3) 公益Ⅲ d b に特有の内容は以下のとおりです。

* 科目スケジュール

- ・比較推移表独自のスケジュールを用意しています。並び順は試算表と同様です。

* 前期、前々期、3期前、4期前の金額

- ・資金収支帳表の金額は当期マスターに存在しませんので、過年度マスターを参照します。
- ・資金収支帳表以外の金額は当期マスターにおける各期の発生残高を参照します。

* 収支計算書

- ・「損益」を選択すると正味財産増減科目(損益ベース)の、「資金」を選択すると収支科目(資金ベース)の帳表を出力します。
- ・資金ベース帳表は帳表上部の事業年度付近に“(資金収支)”と無条件に出力します。
- ・資金ベース帳表は「収支集計・財産資産・消費税関係登録」業務の『収支集計科目メンテ』のテーブルにしたがって集計されます。

* 予算〔収支(損益・資金)〕

- ・損益ベース帳表は「資金科目・予算・予備費関係登録」業務の『予算・予備費登録タブ』の予算金額を、資金ベース帳表は『予算・予備費登録(資金収支)』の予算金額を出力します。
- ・発生金額は、出力月の当初予算額に出力月の補正予算額、科目予算流用額、予備費流用額を加えた金額を出力します。
- ・累計金額は、当初予算額に出力月までの補正予算額、科目予算流用額、予備費流用額を加えた金額を出力します。
- ・予備費は、出力形式が累計の帳表または累計対比列に出力します。

* 一般正味財産期首残高、指定正味財産期首残高、基金期首残高〔正味財産増減、収支(損益)〕

- ・発生の予算は「資金科目・予算・予備費関係登録」業務で登録した予算の月割分を出力し、発生の実績は出力しません。ただし「一般正財期首残(科目コード:0799)」「指定正財期首残(科目コード:0905)」「基金期首残高(科目コード:0939)」の仕訳がある場合は、実績欄に出力します。
- ・累計の予算は「資金科目・予算・予備費関係登録」業務で登録した予算を出力し、累計の実績は「科目設定・残高登録」業務の開始残高を出力します。

* 前期繰越収支差額〔収支(資金)〕

- ・発生の予算は「資金科目・予算・予備費関係登録」業務で登録した予算の月割分を出力し、発生の実績は出力しません。
- ・累計の予算は「資金科目・予算・予備費関係登録」業務で登録した予算を出力し、累計の実績は「科目設定・残高登録」業務の収支開始残高を出力します。

* 比率

- ・貸借帳表は貸借合計を100%とした構成比を出力します。
- ・正味財産増減計算帳表及び損益ベースの収支計算帳表には、経常収益計を100%とした対収益比を出力します。
- ・資金ベースの収支計算帳表には、事業活動収入計を100%とした対収入比を出力します。

Ⅲ. 決算

1) 勘定科目内訳書

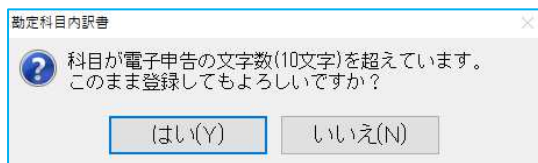
①電子申告の上限文字数を超えた項目タイトルに電子申告の上限文字数を表示し、タイトルとデータの文字色を変更するように対応しました。

- 電子申告の文字数を超えるデータが入力された場合
 - ・項目タイトルに電子申告の上限文字数を括弧付きで表示します。
 - ・項目タイトルと入力されたデータの文字色は、青色で表示されます。
 - ・画面下部に「項目名の数値は電子申告で変換される文字数です。電子申告時に、青字の項目では文字数を超える部分はカットされます。」の文言を表示します。

例：①預貯金等の内訳書・・・種類、摘要で電子申告の上限文字数を超えた場合

金融機関名	支店名	種類(10)	口座番号	期末現在高	摘要(30)
あいえお銀行	大阪支店	あいえおあきくけこさし	1234567	10,000,000	あいえおあきくけこさしすそたちつと なにぬねのはひふへほまみむめもやいゆえよ
かきくけこ銀行	東京支店	当座預金	7664321	10,000,000	あいえおあきくけこさしすそたちつと なにぬねのはひふへほ

- [F9 参照] ダイアログ
 - ・ [F6 編集] [F8 挿入] [F9 追加] の処理で、名称が電子申告の文字数を超えている時は、OK ボタン押下時に下記の確認メッセージを表示します。



括弧の中には電子申告の上限文字数を表示します。

- 電子申告では半角文字も全角文字に変換して処理されるため、内訳書データの全角半角を問わずに文字数により電子申告の上限文字数の判定を行います。

- 上限文字数を超える可能性がある箇所は以下の通りです。

①預貯金等の内訳書

- ・金融機関名 (電子申告上限文字数 11 文字)
- ・支店名 (電子申告上限文字数 11 文字)
- ・種類 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ・摘要 (電子申告上限文字数 30 文字)

②受取手形の内訳書

- ・支払銀行名称 (電子申告上限文字数 11 文字)
- ・支払銀行支店名 (電子申告上限文字数 11 文字)
- ・割引銀行名及び支店名等 (電子申告上限文字数 22 文字)
- ・摘要 (電子申告上限文字数 50 文字)

③売掛金（未収入金）の内訳書

- ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ・摘要 (電子申告上限文字数 50 文字)

④-1 仮払金（前渡金）の内訳書

- ・科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ・法人・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)

- ④-2 貸付金及び受取利息の内訳書
- ・ 法人・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 担保の内容 (物件の種類、数量、所在地等) (電子申告上限文字数 40 文字)
- ⑤ 棚卸資産 (商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品) の内訳書
- ・ 科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 品目 (電子申告上限文字数 20 文字)
 - ・ 摘要 (電子申告上限文字数 30 文字)
- ⑥ 有価証券の内訳書
- ・ 区分 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 種類 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 銘柄 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ (期末現在高) 数量 (電子申告上限文字数 11 桁 小数点以下 2 桁)
 - ・ (期中増の明細) 異動事由 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ (期中増の明細) 数量 (電子申告上限文字数 11 桁 小数点以下 2 桁)
 - ・ 摘要 (電子申告上限文字数 50 文字)
- ⑦ 固定資産 (土地、土地の上に存する権利及び建物に限る。) の内訳書
- ・ 種類・構造 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 用途 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 異動事由 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ⑧ 支払手形の内訳書
- ・ 支払銀行名称 (電子申告上限文字数 11 文字)
 - ・ 支払銀行支店名 (電子申告上限文字数 11 文字)
 - ・ 摘要 (電子申告上限文字数 50 文字)
- ⑨ 買掛金 (未払金・未払費用) の内訳書
- ・ 科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ⑩-1 仮受金 (前受金・預り金) の内訳書
- ・ 科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 法人・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ⑪ 借入金及び支払利子の内訳書
- ・ 法人・代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 担保の内容 (物件の種類、数量、所在地等) (電子申告上限文字数 20 文字)
- ⑫ 土地の売上高等の内訳書
- ・ 地目 (電子申告上限文字数 10 文字)
- ⑬ 売上高等の事業所別内訳書
- ・ 代表者との関係 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 源泉所得税納付書 (電子申告上限文字数 15 文字)
 - ・ 摘要 (電子申告上限文字数 30 文字)
- ⑭-1 役員給与等の内訳書
- ・ 担当業務 (電子申告上限文字数 10 文字)

- ⑮-1 地代家賃等の内訳書
- ・ 地代・家賃の区分 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 借地 (借家) 物件の用途 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 摘要 (電子申告上限文字数 40 文字)

- ⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書
- ・ 権利金等の内容 (電子申告上限文字数 30 文字)
 - ・ 摘要 (電子申告上限文字数 40 文字)

- ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書
- ・ 名称 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 摘要 (電子申告上限文字数 40 文字)

- ⑯-1 雑益、雑損失等の内訳書
- ・ 科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 取引の内容 (電子申告上限文字数 30 文字)

- ⑯-2 雑損失等の内訳書
- ・ 科目 (電子申告上限文字数 10 文字)
 - ・ 取引の内容 (電子申告上限文字数 30 文字)

②以下の様式の金額及び面積の桁数を拡張しました。

- ・ ①預貯金等の内訳書で、期末現在高の桁数を「13 桁」(計行も 13 桁)にしました。
- ・ ⑦固定資産の内訳書で、面積を「整数 8 桁+小数 2 桁」にしました
- ・ 他の様式の金額・面積の欄についても、画面・印刷で可能なものの桁数を増やしました。

●桁数を変更した箇所は以下の通りです。

①預貯金等の内訳書

- ・ 期末現在高 明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁

②受取手形の内訳書

- ・ 金額 明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁

③売掛金 (未収入金) の内訳書

- ・ 期末現在高 明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁

④-1 仮払金 (前渡金) の内訳書

- ・ 期末現在高 明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁

④-2 貸付金及び受取利息の内訳書

- ・ 期末現在高 明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
- ・ 期中増受取利息額 明細 9 桁 合計 10 桁 → 明細 10 桁 合計 10 桁

⑤棚卸資産 (商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品) の内訳書

- ・ 期末現在高 明細 12 桁 合計 13 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁

⑥有価証券の内訳書

- ・ 期末現在高 明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
- ・ 期中増 (減) の明細 明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁

⑦固定資産（土地、土地の上に存する権利および建物に限る。）の内訳書	
・ 期末現在高	明細 12 桁 合計 13 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁
・ 面積	整数 6 桁 小数 2 桁 → 整数 8 桁 小数 2 桁
・ 取得（処分）価格	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
・ 異動直前の帳簿価格	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
⑧支払手形の内訳書	
・ 金額	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁
⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書	
・ 期末現在高	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁
⑩-1 仮受金（前受金・預り金）の内訳書	
・ 期末現在高	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
⑩-2 源泉所得税預り金の内訳	
・ 期末現在高	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁
⑪借入金及び支払利子の内訳書	
・ 期末現在高	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
・ 期中の支払利子額	明細 9 桁 合計 10 桁 → 明細 10 桁 合計 10 桁
⑫土地の売上高等の内訳書	
・ 総面積	整数 6 桁 小数 2 桁 → 整数 8 桁 小数 2 桁
・ 売上（仲介）面積	整数 6 桁 小数 2 桁 → 整数 8 桁 小数 2 桁
・ 売上金額	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁
・ 仲介手数料	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁
⑬売上高等の事業所別内訳書	
・ 売上高	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
・ 期末棚卸高	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
⑭-2 人件費の内訳書	
・ 総額	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁
・ 総額のうち代表者及びその家族分	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁
⑮-1 地代家賃等の内訳書	
・ 支払賃貸料	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書	
・ 支払金額	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書	
・ 支払金額	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
⑯-1 雑益、雑損失等の内訳書	
・ 金額	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
⑯-2 雑損失等の内訳書	
・ 金額	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 12 桁 合計 12 桁
⑰その他科目の内訳書①-1～20	
・ 期末現在高	明細 11 桁 合計 12 桁 → 明細 13 桁 合計 13 桁

- ・「②受取手形の内訳書」「⑩借入金及び支払利子の内訳書」では、画面上の一括金額行に科目が表示されていても、印刷設定の「科目行を出力する」がチェック OFF の場合は、出力に反映しません。
印刷設定の「科目行を出力する」がチェック ON で、一括金額行の科目を変更していない（直前のデータと同じ）ときは従来通りの出力です。

振 出 人	振出年月日	支 払 期 日	支 払 銀 行		金 額 円	割引銀行名 及び支店名等	摘 要
			名 称	支 店 名			
受 取 手 形							
	令 2. 1. 1	令 2. 10. 10	あいうえお 銀行	大阪支店	100,000		
その他 2件					11,000		
【小計(受取手形)】					111,000		

一括金額行の科目を変更している時は、選択された名称で科目行が出力されます。

振 出 人	振出年月日	支 払 期 日	支 払 銀 行		金 額 円	割引銀行名 及び支店名等	摘 要
			名 称	支 店 名			
受 取 手 形							
	令 2. 1. 1	令 2. 10. 10	あいうえお 銀行	大阪支店	100,000		
割 引 手 形							
その他 2件					11,000		
【小計(受取手形)】					111,000		

- ⑤「⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書」「⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書」出力形式：通常の画面にて、1 行ごとの縦幅を広げ、元号コンボボックスが全て表示できるように対応しました。
「⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書」の欄外登録の画面に対しても同様に対応しています。

⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書

権利金等の期中支払の内訳書					前様式	次様式	⑮-2
支払先の名称(氏名)	支払先の所在地(住所)	支払年月日	支払金額	権利金等の内容	摘要		
						あいうえお株式会社 札幌市中央区	令和02.01.01
		選択なし 令和 平成 昭和 大正 明治					
計			100,000				

⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書

工業所有権等の使用料の内訳書						前様式	次様式	⑮-3
名 称	支払先の名称(氏名)	支払先の所在地(住所)	契約期間	使 用 料 等		摘要		
				支払対象期間	支払金額			
特許権	あいうえお株式会社 札幌市中央区	令和02.01 ~ 令和04.12	令和02.01 ~ 令和04.12	100,000				
		選択なし 令和 平成 昭和 大正 明治	~					
計				100,000				

⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書：欄外登録

未払配当金	支払確定年月日	期末現在高	未払役員賞与	支払確定年月日	期末現在高
	選択なし				令和02.01.01
令和		100,000			
平成					
昭和					
大正					
明治		100,000		令和02.01.01	100,000

●元号コンボボックスについて

入力画面上、表の外側には表示できないため、下方向に伸ばして欄外にあふれる場合は、上方向に伸ばして表示するようにしています。

上記に伴いデータ行の縦幅が狭い画面では、コンボボックスが開いたときにどの行の選択か分かりにくいケースが生じたため、今回の対応から年月日入力の入力方法を以下の通りに変更しました。

- (1)キーボード或いはマウスから年月日項目にカーソルがセットされたとき、自動で元号ボックスを表示していたのを止め、年月日欄にカーソルがセットされるようにしました。
- (2)左右矢印キーを押下した時は前項目/次項目へ移動します。
- (3)既存データの場合、元号が変更されていなければ入力された日付は保持します。
- (4)年月日欄にカーソルがあるとき、以下の操作で既存データの日付をクリアします。
 - ・ Delete キーを押下した場合
 - ・ 異なる元号が選択されて日付が再入力された場合
 - ・ 元号名称上をマウスクリックした場合
- (5)新規データの場合、元号の初期値はシステムデートから自動判断して表示します。

◆対象となる項目は以下の通りです。

- ②受取手形の内訳書
 - ・ 振出年月日
 - ・ 支払期日
- ⑥有価証券の内訳書
 - ・ 異動年月日
- ⑦固定資産（土地、土地の上に存する権利及び建物に限る。）の内訳書
 - ・ 異動年月日
 - ・ 売却物件の取得年月
- ⑧支払手形の内訳書
 - ・ 異動年月日
 - ・ 支払期日
- ⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書
 - ・ [欄外登録] 支払確定年月日
- ⑩-2 源泉所得税預り金の内訳
 - ・ 支払年月
- ⑫土地の売上高の内訳書
 - ・ 売上（仲介）年月日
- ⑮-1 地代家賃等の内訳書
 - ・ 支払対象期間
- ⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書
 - ・ 支払年月日
- ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書
 - ・ 契約期間
 - ・ 支払対象期間

- ⑥データインポート処理で、CSV ファイルを開いた状態でもインポートができるように対応しました。
- ・様式選択ダイアログ表示前に CSV ファイルを開いていると、様式選択の一覧に開いている CSV の様式が表示されない。
- また、様式選択ダイアログ表示中又はそれ以降に CSV ファイルを開くと、インポート中に「IcsUcXXX.CSV(〇〇〇の内訳書)を開けませんでした。」と表示されて取り込みできなかったのを、インポート処理で CSV ファイルを開いている状態でも取り込めるように対応しました。

修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①科目設定で課税区分：不課税、科目属性：固定資産に設定されている科目（建設仮勘定など）を貸方にした不課税仕訳を、内税に変更し、仕訳区分を「譲渡」から「取得（相殺）」に変更すると、不課税に戻っていたので、不課税に戻らないように修正しました。

2) 元帳検索

- ①一括税抜き：総額方式マスターにおいて、固定資産売却益の課税仕訳（内税）がある場合に、仮受消費税の元帳で「一括税抜き仕訳の内訳」の金額と、「翌期への繰り越しの合計」の金額に誤差が出る場合があったので、下記のように計算を変更しました。

●計算方法の詳細

- A：対価の金額
- B：固定資産売却益の金額

・合計金額の計算

(A+B) の消費税額

・内訳の計算（従前の場合）

A の消費税額 + B の消費税額



左記計算方法により消費税額の端数計算で誤差が生じていたため、内訳の計算を合計金額の計算と同様に「(A+B) の消費税額」に変更しました。

●計算方法の変更により、金額に影響を受ける業務

- ・元帳検索
- ・残高問い合わせ（日指定時）
- ・科目日計（集計）表（日指定時）
- ・伝票発行
- ・総勘定元帳

※該当マスターは、当プログラムにより「マスター修復」を行ってください。

- ②仕訳修正タブを表示した状態で元帳検索を最小化し、仕訳入力で仕訳を追加後、タスクバーより元帳検索を開き、検索指定タブに戻ると、科目指定部分が消えていたのを修正しました。
- ③仕訳修正タブの貸借修正ダイアログにおいて、付箋のコメントに半角「%」があった場合、コメント入力欄を開くたびに、半角「%」の数が半分になっていたのを修正しました。
- ④諸口枝番名称を変更した場合にも、元帳検索では初期値の名称を表示していたため、変更後の諸口枝番名称を表示するように修正しました。
- ⑤確定仕訳時・仕訳移動時など仕訳に色が付く場合、998番目以降の仕訳の「差引残高」欄が全て白色で表示されていたので、「差引残高」欄に色が表示されるように修正しました。
- ⑥マルチウィンドウ有効時に、元帳検索にて「相手科目の科目コード：表示する」に設定していた場合、科目コードの表示が欠けていたのを修正しました。

⑦解像度 1920×1080（125%推奨）のノート PC 等で、文字が枠からはみ出したり、つぶれていたのを修正しました。

⑧科目設定で課税区分：不課税、科目属性：固定資産に設定されている科目（建設仮勘定など）を貸方にした不課税仕訳を、内税に変更し、仕訳区分を「譲渡」から「取得（相殺）」に変更すると、不課税に戻っていたので、不課税に戻らないように修正しました。

3) 残高問い合わせ

①枝番別比較残高一覧表において、前期に枝番残高の発生があり、前期残が0の枝番がある場合に、1ページ目の最終行が2ページ目にも表示されていたのを修正しました。

②比較残高タブで下記設定の場合に、前期、当期ともに発生の無い枝番があると、元帳への参照元がずれていたのを修正しました。

《設定》

- ・ 前期比較方法：発生比較
- ・ 残高・発生の無い枝番を出力する：OFF
- ・ 残高一覧で合計科目を出力する：ON

※上記条件の「残高一覧で合計科目を出力する：OFF」の場合、期首残高があり、前期、当期ともに発生の無い枝番が表示されていたのを修正しました。

4) 科目別日別残高表

①年間日別集計表で累計を選択した場合、画面表示では仕訳の発生があった日と残高がある日に金額が表示されているが、印刷又はプレビューを選択すると仕訳が発生した日しか残高が表示されず、仕訳が発生していない日には0と表示されていたため、累計選択時、残高がある日は、仕訳の発生が無くとも累計金額を表示するように修正しました。

また、月に関わらず31日まで残高が出力されていたのを、2月28日まで、4月は30日までと各月に応じて出力する日数を変更しました。

※画面表示は従来通りの表示となっています。

《例》

・ 1~2月、4~5月に毎日「現金/売上 10000」の仕訳を入力し、5月まで出力した場合

日付	2年5月度	2年4月度	2年3月度	2年2月度	2年1月度
1日	910,000	610,000	600,000	320,000	10,000
2日	920,000	620,000	600,000	330,000	20,000
3日	930,000	630,000	600,000	340,000	30,000
4日	940,000	640,000	600,000	350,000	40,000
5日	950,000	650,000	600,000	360,000	50,000
6日	960,000	660,000	600,000	370,000	60,000
7日	970,000	670,000	600,000	380,000	70,000
8日	980,000	680,000	600,000	390,000	80,000
9日	990,000	690,000	600,000	400,000	90,000
10日	1,000,000	700,000	600,000	410,000	100,000
11日	1,010,000	710,000	600,000	420,000	110,000
12日	1,020,000	720,000	600,000	430,000	120,000
13日	1,030,000	730,000	600,000	440,000	130,000
14日	1,040,000	740,000	600,000	450,000	140,000
15日	1,050,000	750,000	600,000	460,000	150,000
16日	1,060,000	760,000	600,000	470,000	160,000
17日	1,070,000	770,000	600,000	480,000	170,000
18日	1,080,000	780,000	600,000	490,000	180,000
19日	1,090,000	790,000	600,000	500,000	190,000
20日	1,100,000	800,000	600,000	510,000	200,000
21日	1,110,000	810,000	600,000	520,000	210,000
22日	1,120,000	820,000	600,000	530,000	220,000
23日	1,130,000	830,000	600,000	540,000	230,000
24日	1,140,000	840,000	600,000	550,000	240,000
25日	1,150,000	850,000	600,000	560,000	250,000
26日	1,160,000	860,000	600,000	570,000	260,000
27日	1,170,000	870,000	600,000	580,000	270,000
28日	1,180,000	880,000	600,000	590,000	280,000
29日	1,190,000	890,000	600,000	600,000	290,000
30日	1,200,000	900,000	600,000		300,000
31日	1,210,000		600,000		310,000

仕訳の発生がない3月にも残高を表示しています。
また、2月30日等は空欄で表示しています。

5) 科目設定・残高登録

①残高登録の枝番残高登録タブで、Enterでカーソルを送ると、入力内容に間違いが無くても警告音が鳴っていたのを修正しました。

Ⅱ. 出力

1) 全般

- ①部門入力が『行う』、通常配賦が『行う』、経理方式の既定が『税込』になっているマスターで、既定外の経理方式を選択して、試算表・分析表などの業務で出力を行おうとすると「配賦集計 通常配賦初期化中に障害が発生しました。通常配賦 総合計金額の集計中に障害が発生しました。」と表示されて出力できない不具合を修正しました。

Ⅲ. 決算

1) 決算書

- ①項目登録／財務注記
- ・「財務諸表に対する注記」
「5.基本財産及び特定資産の財源等の内訳」のリスト（基本財産及び特定資産の財源等の内訳）
「明細科目表示」にチェックを付けていると、その後に明細科目追加された明細科目が小計・合計に反映されていなかったのを修正しました。

2) 勘定科目内訳書

- ①「⑩-2 源泉所得税預り金の内訳」の左側 1 行目の支払年月がクリアされるのを修正しました。
※前述の元号コンボボックスの改良とともに修正しています。

以上